

FIREとは？どんな準備が必要!?

メリット・デメリットを徹底解説



「FIREって本当に実現できるのかな？」
「FIREすることでどんなメリットがあるの？」

上記のような疑問を抱える方も多いのではないのでしょうか。

FIRE実現のために、どのように行動していけば良いのか気になりますよね。

FIREとは経済的な自立を実現させて、仕事を早期にリタイアすることです。

今は、一昔前の年功序列社会とは違います。

会社に従って真面目にコツコツ頑張っていれば着実に給与が上がっていき、定年まで安定を保障されることはありません。

これからの新しい時代の働き方として、経済的自立を目指すことで自由なライフスタイルを実現できます。

この記事ではFIREしたい人に向けて、以下のような内容を解説しています。

- そもそもFIREとは何か？

- FIREするメリット、デメリット
- FIREを実現させる為にやっておきたいこと

事前にFIRE実現のためにできることをしておけば「いざ、FIREしたい！」と思った時に慌てずに行動できますよ。

ぜひこの記事参考に、FIREを実現させてくださいね。

FIREとは？

FIREとは【**経済的自立と早期リタイア**】を実現させることです。

FIREには、2つの考え方があります。

- 生活に必要な資金を貯めてから、退職する
- 会社員を辞めて、自分のビジネスに挑戦していく

FIREは、ただ会社員を辞めるだけではなく資産運用を継続的に行っていき、運用して得た利益で生活をしていく方法です。

最近では、日本でも働き方の概念が変わってきて、FIREもライフスタイルのひとつとして注目を集めています。

FIRE実現の目標金額は「**4%ルール**」で算出できます。

資産を年4%で運用し、生活費を資産の4%以内に抑えれば、自身の資産額は減りません。

FIREには年間支出の25倍の資産が必要です。

例えば、年間の生活費を300万円で考えると、7,500万円の資産を年4%で運用すれば、300万円の運用益が得られます。

この300万円を生活費に充てても7,500万円が残ります。

これを繰り返していくことで、資産を減らすことなく生活し続けることができるのです。

毎月の支出	年間の支出	FIREに必要な資産額
10万円	120万円	3,000万円
15万円	180万円	4,500万円
20万円	240万円	6,000万円
25万円	300万円	7,500万円
30万円	360万円	9,000万円

FIREの種類

FIREには4つの種類があり、それぞれの特徴があります。

Lean FIRE

Lean FIREは、生活レベルを必要最低限まで落とし、節約をしていくタイプです。

資産収入だけで生活をしなければならないため、小さな無駄遣いを抑えていくことが大事になります。

また、リタイア後に贅沢をしてしまうと、自分の寿命よりも先にお金がなくなる可能性があります。

そのため、生活水準を上げることはできず、儉約生活を継続しなければなりません。

生活レベルを最低限にして、好きなときに好きなことをしたい方に向いているといえます。

Fat FIRE

Fat FIREは、資産収入のみで生活するため、完全リタイア型のFIREです。

そのため、一生遊んで暮らせる資産を築いて、リタイア後も贅沢な生活を送ることができます。

Fat FIREを実現できれば、お金や時間を気にせずに好きなことができるメリットがあります。

ただし、Fat FIREは土地や株などをたくさん持った資産家か、事業で大成功した人向けであり、会社員が実現するにはハードルが高いのが現状です。

Side FIRE

Side FIREは、資産運用の運用益と労働収入の2つで生活するタイプです。

また、資産収入をある程度得られるので、絵を描いたり文章を書いたり自分の好きなことを仕事にできます。

午前中は仕事をして、午後はゆっくりと休むなど自分のペースで働きながら暮らせます。

完全に働くのをやめるわけではないため、Side FIREであれば、現実的といえるでしょう。

Coast FIRE

Coast FIREは、資産運用を行いながら趣味的に仕事をしていくタイプです。

フルタイムでは働かないで、仕事を趣味として捉えていきストレスフリーな生活を送ることができます。

十分な資産は持っているが、人の役に立ちたいという方はCoast FIREが適しているといえるでしょう。

FIREのメリット

FIREすると、どんなメリットがあるのかについて解説します。

少ない資金でゆとりを持った生活を送れる

少ない資金でゆとりを持った生活を送ることができるのは、FIREのメリットです。

FIREを考えていくと、節約をするようになっていき貯蓄が増えていきます。

過度に節約はせず、ストレスフリーで節約をしていくと良いです。

自分に必要なものだけを購入していき、少ない資金でうまく暮らしていくことができるのはメリットといえるでしょう。

住みたい場所に自由に住むことができる

FIRE実現後に、好きな場所に住むことができるのはメリットです。

FIREすることができれば、時間や場所にとらわれない生活を送れます。

リモートワークができる仕事であれば、都会や田舎、あるいは海外などどこでも生活を送ることが可能です。

また、時間的な余裕が生まれるので旅をしながら暮らしていくこともできるでしょう。

FIREを実現したら働いても働かなくても良い

FIREを実現すると、好きなことをして暮らしていくことができるメリットがあります。

趣味やボランティア活動などに時間を使うのも自由でしょう。

また、週1日～2日ほど自分の好きな分野で仕事をする選択肢も用意されています。

FIREのデメリット

FIREは必ず成功するとは限りません。FIREのデメリットと対策について解説していきます。

FIRE実現後に急な出費が出てしまう

FIRE実現で考えていた生活費以外に、病気や事故など予期していなかったことが起きると、急な出費が出てしまう可能性があります。

また、消費税増税や保険料増額により出費が増えるケースもあり得ます。

万が一に備えて、資金の準備が必要になるでしょう。

年4%の不労所得を維持するのが難しい

FIREを実現させるための指標である「4%ルール」を成功させるのは、意外と難しいです。

金利の変動により、年利が4%未満になるリスクがあります。

また、投資にはリスクがありますので、元本割れする可能性が出てきます。

FIREで早期リタイアする場合、投資について十分な知識や経験を積んでおくといいでしょう。

キャリアが中断される

FIREを実現すると、積み重ねてきたキャリアが中断してしまう場合があります。

キャリアが中断してしまうと、次の就職先が決まらない可能性が出てきます。

仕事から離れてしまった後も、個人で稼いでいくスキルが必要です。

自分自身の強みは何なのか考えたうえで、自己投資もしていくといいでしょう。

FIREを実現させる為にやっておきたいこと

FIREを実現させる為にやっておきたいことについて、3つ紹介します。

- 年間生活費を算出する
- FIREの必要額を算出する
- 資産額を貯めるためにできること

年間生活費を算出する

FIREを実現させる為には、年間支出を計算しましょう。

家賃、水道光熱費、趣味に費やすなど、何にお金を使っているのか把握しておく必要があります。

今の生活水準を保ちながら、不要なものは削るようにすると良いです。

FIREした後に、どんなライフスタイルを実現したいのか考えておきましょう。

FIREの必要額を算出する

FIREを実現させる為には、FIREに必要な資産額を考えてみよう。

FIREに必要な資産は、年間支出の25倍です。

たとえば、年間の生活費を300万円で考えてみると、7,500万円の資産が必要です。

住宅ローンを組んでいたりと、子供がいれば考えている以上にお金がかかったりする可能性があります。

さまざまな支出を考慮して、余裕を持った資産額で計算しておくの良いでしょう。

資産額を貯めるためにできること

固定費を見直す

資産を貯めるために、固定費を見直すべきです。

なぜなら、FIRE実現のためには、支出をコントロールしていく必要があるからです。

下記の内容を見直していき、固定費を下げていくと資産が貯まっていきます。

- 家賃
- 携帯料金
- 光熱費

たとえば、東京23区に住んでいると家賃が8万円以上する場合があります。

東京郊外のアパートへ引っ越して家賃を4万円程度に抑えることができれば、月に4万円近く違ってくる計算になります。

資産額を貯めるためには、まずは固定費を見直してみましょう。

複利の効果を利用する

効率よく貯金をして投資をすることで複利の効果を利用しましょう。

FIREを実現するためには、長期投資を行うことが重要になります。

複利効果とは、運用で得た利益を再投資することで、利益が利益を生んで、雪だるま式にお金がふくらんでいく仕組みです。

単利とは、元本だけに利子がつくことです。

	1年	2年	3年	4年	5年
単利	1,050,000	1,100,000	1,150,000	1,200,000	1,250,000
複利	1,050,000	1,102,500	1,157,625	1,215,506	1,276,282

資産運用をする

FIREをして資産を貯めるには、資産運用が必要です。

まずはつみたてNISAやiDeCoといった、節税できる制度を優先して活用し、インデックス型・バランス型の投資信託に投資するのがおすすめです。

つみたてNISAをおすすめできる理由は、以下の3点になります。

1. 長期の積立・運用に向けた商品を厳選、投資初心者も選びやすい
2. 少額からコツコツじっくり資産形成ができる
3. 利益に税金がかからない

初心者でも始めやすく、長期間に渡って投資を継続すれば複利の効果で効率良く資産を増やすことができます。

つみたてNISAから始めていき、ゆくゆくは株式投資や不動産投資にも挑戦してみると良いでしょう。

まとめ

ここまで、FIREについて以下を解説してきました。

- そもそもFIREとは何か？
- FIREするメリット、デメリット
- FIREを実現させる為にやっておきたいこと

この記事を読む前はFIREしても良いのかなあと不安だった方も、理解が深まったのではないのでしょうか。

FIREを実現させたい。

そのためには、FIREとは何か？FIREするメリット、デメリットを知ることから始まります。

FIRE実現の為に、できることからどんどん挑戦していきましょう。

この記事がFIRE実現の一歩になればうれしいです。

最後までお読みいただき、ありがとうございました！